

旭川から発信する情報コンテンツ

# 北海道経済

2010  
JULY  
No. 499

HOKKAIDO KEIZAI

平成22年7月1日発行(毎月1回1日発行)  
昭和45年1月30日第三種郵便物認可

揺れる胸中…カギを握る津川雅彦氏の動向  
**小菅正夫**前旭山動物園園長の立起ヤマ場へ

**市長選前に亀裂? 西川後援会の不協和音、  
みんなの党と協力も? 安住太伸が市長選出馬宣言  
口蹄疫に厳戒態勢、生産者が恐れるエゾシカ感染**

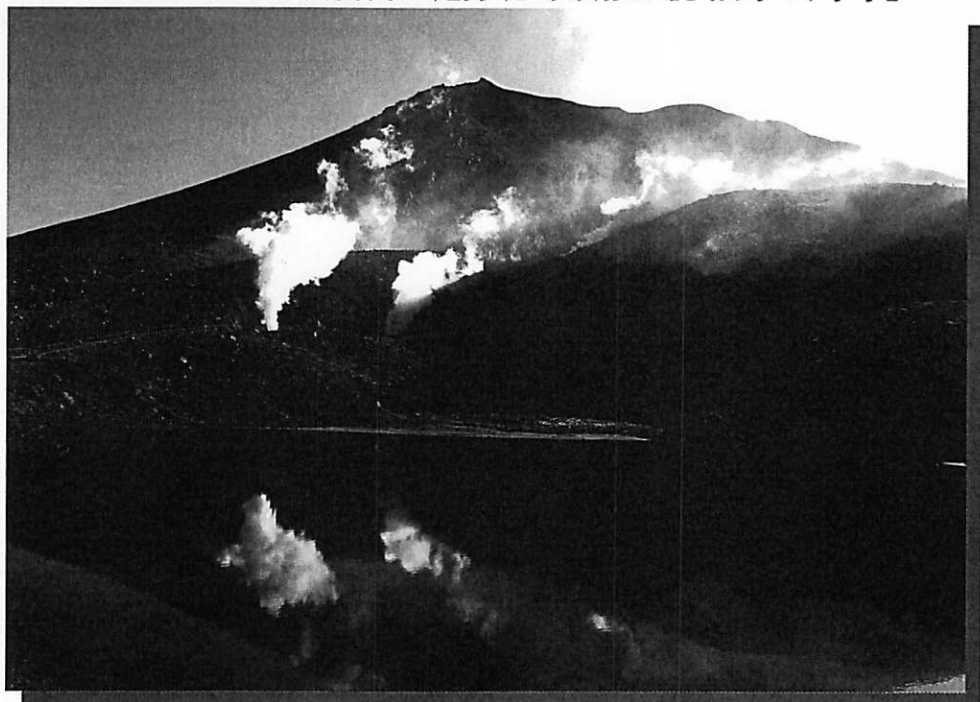
旭川東宝閉館 中心部から消える映画館

大学淘汰 学生募集停止する東海大旭川キャンパス

彫刻美術館が収蔵する 中原悌二郎代表作「若きカフカス人」は真正品ではなかった

凍結から14年、再び動き出すか上川町地熱発電構想

●今月の視点● 鳩山内閣が退陣 短命政権が続く日本の「不幸」 西田 勲



姿見の池に映る噴煙と旭岳／東川町(撮影:本誌 北牧和彦)

映画

## 「犬と猫と人間と」

6/26に無料上映会

空前のペットブームの裏で、年間30万頭以上の犬、猫が「処分」されている——あまり知られていないそんな事実を通じて人間と生きものの関係を見つめ直す映画「犬と猫と人間と」(飯田基晴監督作品)の上映会が6月26日(土)の13時から旭川

市民文化会館小ホールで開催される。

この作品のなかでは、捨てられる犬や猫の厳しい現実だけでなく、これらの命に新しい暮らしの場を与えるために必死に努力している施設の職員やボランティア、処分頭数を減らすために行政が始めた取り組みにも光が当てられる。

作品が生まれるきっかけとなったのは、飯田監督の別の作品を見た、ある老婦人からの申し出だった。「動物たちの命の大切さを知ってもらえる映画を作ってほしい。お金は出します」。映画の制作費のかなりの部分は、この老婦人が生命保険を解約して捻出した資金に

よってまかなわれたという。

上映会を主催するのは緑の森どうぶつ病院。旭川市教育委員会と、社団法人日本動物福祉協会が後援する。緑の森どうぶつ病院では、これまでにも犬や猫との関係を考える講演会や写真展を開いてきたが、映画を上映するのはこれが初めて。「以前なら考えられなかったことですが、最近ではラブラドル・レトリバーやトイプードルといった人気の犬の、可愛い子犬が捨てられることも増えています。この上映会を通じて、生きものを大切にする意識を高めるお手伝いができれば」と、しつけアドバイザー菊地主任は話している。

上映会は無料だが、事前の申し込みが必要。連絡先は緑の森どうぶつ病院企画室0166・60・5877まで。

愛され猫のしるし  
耳先カット写真展

上富良野町深山峠のトリックアート美術館で5月29〜30日、「愛され猫のしるし・みみ先カット猫写真展」が開催された。捨て猫の殺処分を減らすための活動、耳先カットについての理解と協力を呼びかけた。

写真展を開催した公益財団法人どうぶつ基金(兵庫県芦屋市)によれば、殺処分される猫は年間20万頭で、そのうち8〜9割が生後1週間ほどの子猫。最近では捨て猫をめぐる裁判でプロ棋士が敗訴したことが話題になった。

現状に心を痛めるボランティアは、全国各地でTNR活動を展開している。これはオスメス



問わず野良猫を捕獲、避妊手術を行ったあとで、元の場所に戻す取り組み。ネコが麻酔で眠っている間に耳先を少しだけ切り取り、避妊手術済の印とする。

継続的にTNR活動を展開すれば、その地域で殺処分に頼らない野良猫問題の解決が期待できる。同基金が06年度から3年間で3000頭についてTNR活動を実施してきた神奈川県座間市では、ボランティアの熱心な活動の効果もあって、持ち込み殺処分ゼロを達成した。

同基金では福岡、大阪、横浜でも同様の写真展を開いてきた。このほか野良猫の避妊手術に対する助成金の支給も行っている。詳しくはホームページで(「どうぶつ基金」で検索)。

# メディア

## メディア あさひかわ

2010. 7

July

中心街から映画館が消える  
旭川東宝映画劇場が8月で閉館

馬脚現した旭川市議会の「議会改革」  
素案市民説明会で市民の発言阻止の場面も

今津国政への復帰確実で  
市長候補模索に不退転の決意

別冊保存版 アウトドアフィールド・ガイドブック

- 参院選直前情報 民主支持V字回復でどう動く旭川の票
- 富良野のリゾート会社が緑地化試みて旭川パークホテルを再生
- 軒並み患者数が減少し苦境に立つ市立旭川病院
- 事実上の出馬表明で先手を打った安住太伸市議
- 旭川商業は10年ぶりに定員満了 旭川の夜間定時制高校の人气が復活
- 松浦さんの「寒試し天気予想」春遅く、夏短く、秋長
- 喜橋の北野獅子舞が6年ぶりに復活 Uターンの農業後継者、新住民らで保存会再組織
- 旭川大学に初のネパール人留学生「貿易の仕事が夢。母国に無料の学校を」

擁立のシナリオはこうして作られた  
小菅<sup>元園</sup>市長選出馬の信ぴょう性を探る  
定員の半数割れで閉鎖決断へ  
東海大学旭川校撤退の裏事情



ほっと  
インタビュー

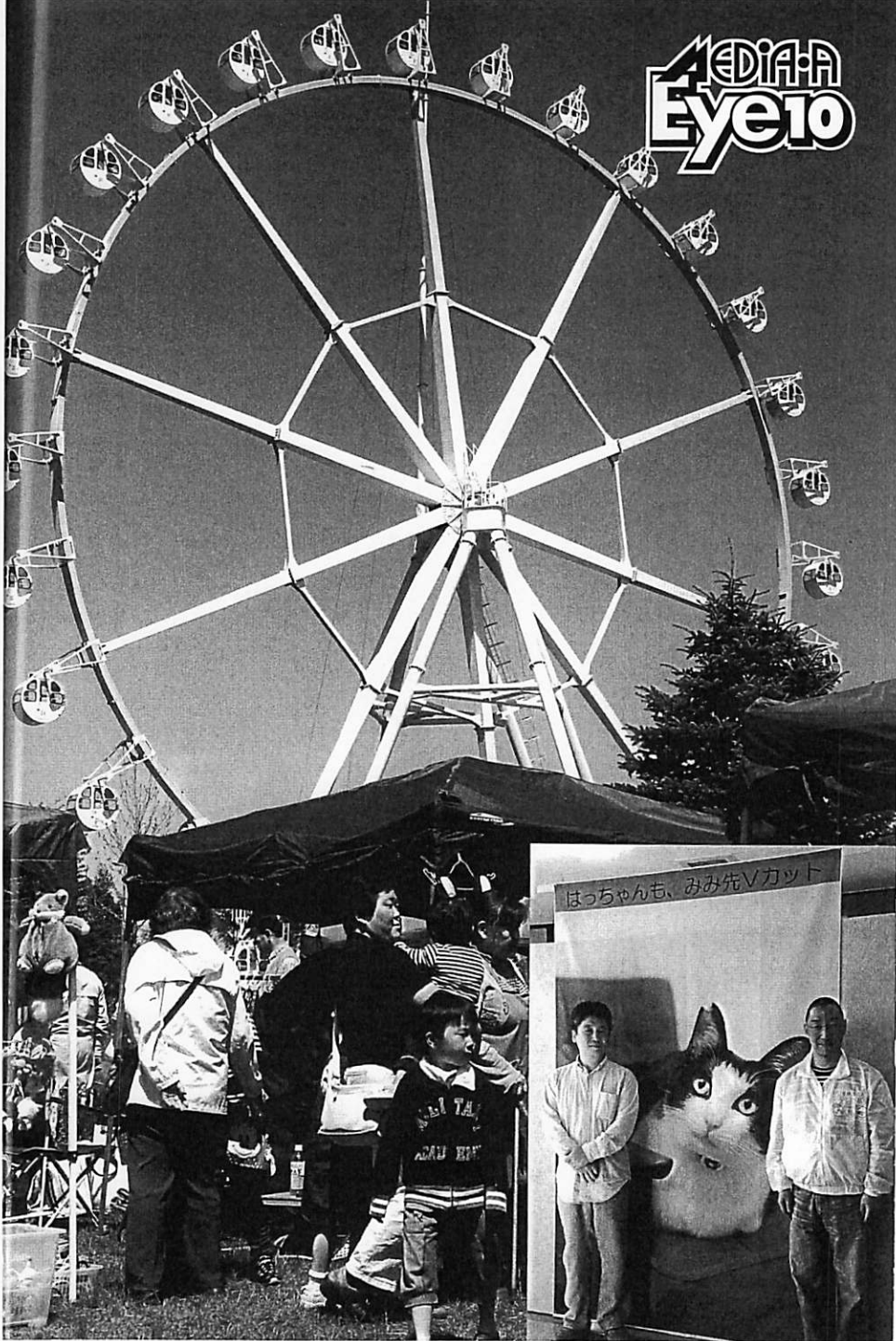
日本人間ドック学会学術大会長

吉田 威



4EDIA-A  
Eye10

# 深山峠で観覧車を背にフリーマーケット 館内では「愛され猫のしるし写真展」



上富良野町にある深山峠アートパークで5月29、30の両日、観覧車を背に、衣服やオモチャ、雑貨類など掘り出し物を数多くそろえたフリーマーケットが開かれた。

同町特産の豚肉が堪能できる「とんとんまつり」(同実行委員会主催)の一環。約30店が軒を連ねたが、中でも、カモミールなどのハーブを素材にした無添加石鹸が人気を集めていた。

また館内では、公益財団法人「どうぶつ基金」が主催する「愛され猫のしるし・みみ先カット写真展」が行われた。今年2月に福岡、3月に大阪で開催された「生物多様性EXPO」でも公開。

犬や猫の殺処分ゼロを目指す同法人が、不妊去勢手術をした印に、麻酔中に耳先をカットした猫の写真約20点を展示した。同法人の佐上邦久理事長(写真右)は「耳先カットは命の尊重」などと訴えている。